



ごのへまち
青森県五戸町

農林漁業、
農村文化体験

伝統の継承

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

たてまちかぐらまいほぞんかい
①館町神楽舞保存会(倉石土地改良区)

館町地区神楽舞の伝説



町内老人ホームへの慰問活動風景①



町内老人ホームへの慰問活動風景②



町内老人ホームへの慰問活動風景③

概要

江戸時代初期から続く伝統芸能であり、季節や物事の節目の儀式として地域の人々と一緒に取り組んでいる。又、貴重な文化資源を後世に継承するため若手の育成や内外への発信に積極的に取り組んでいる。

取組の効果

- 又重の新山神社例大祭で披露されるほか、結婚式において新郎新婦の見固めの儀式として活動するなど、住民の生活と密着した文化遺産として貴重なものとなっている。
- 町内の老人ホーム2施設への慰問活動を行っている。そのうち1施設においては約30年にわたり活動しており、施設入所者や地域住民において恒例の行事として深く根付いている。又、会社員や公務員学生を構成することにより若手育成に取り組んでいる。
- 活動を支えているのは獅子頭(権現様)をはじめ神楽の楽器や小道具であり、楽器は太鼓、鉦、笛。小道具は、面(十余種類)、扇、刀、錫杖、弓、烏帽子など活動初期(370年前)の物があるためメンテナンスに多くの時間や費用をかけている。中山間直接支払制度による集落協定の補助金を活用し修繕の費用を補っている。



とおのし
岩手県遠野市

農泊

農林漁業、
農村文化体験

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

にんてい NPO ほうじん とおの やま・さと・くらし ねっとわーく
②認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク

旅も人も、ありのままがいい♪遠野旅の産直



オンラインツアーに100名参加(2020/12)



2021年夏頃から農村民泊利用の学校が来ている



農家に立ち寄る「マウンテンバイク」企画が好評

概要

多様な旅行客に対応したグリーン・ツーリズムや農泊事業の推進や東北各地へのコンサルティング、復興支援を行っている。

取組の効果

- 2019年には、人や暮らしに焦点を当てた「ありのままの暮らしぶりを体感できる」旅のメニュー提供によるグリーン・ツーリズムメニューの販売店舗「遠野旅の産地直売所」(旅行業第3種)を遠野駅前に開業。
- 2020年春以降、遠野市民を対象にしたグリーン・ツーリズム「遠野超マイクロツーリズム」(2020年300名)やオンライン(20企画延べ500名)を活用した「遠野旅のオンライン産直」を実施。特に、遠野超マイクロツーリズムは、受入先と来訪者が一定の安心を確保しながら、コロナ禍の交流人口の自粛傾向の中で、地元を対象に300名の受け入れを行う企画となった。



たきざわし
岩手県滝沢市

環境保全、
景観保全

教育機関との
連携

青森

秋田

★
岩手

山形

宮城

福島

みどりねっと いわてさんろく
③水土里ネット 岩手山麓

先人からの恩恵を未来へつなぐ宝の水



小学校学習会(円筒分水工の見学)



越前堰篠木地区クリーン作戦

概要

農業水利の歴史と役割を学習会等により次世代に伝え、更に「アドプト制度」で地域資源を守り育てている。



アドプト協定による施設と環境の保全活動

取組の効果

【歴史と多面的機能の学習会】

当団体が管理する岩洞用水と越前堰用水について、受益地内の盛岡市立土淵小学校と滝沢市立篠木小学校の児童を対象に、かんがいの歴史と農業用施設の持つ多面的機能についての学習会・施設見学会を継続して実施。

【農業水利施設クリーン作戦】

中学生を対象とした農業水利施設のクリーン作戦を越前堰用水において実施。本活動を通して中学生から地域住民への環境保全意識の広がりが見られ、当団体の様々な地域貢献活動の認知度も高まっている。

【アドプト(養子縁組)協定活動】

農地や農業水利施設の持つ多面的機能の維持のために、アドプト制度(地元自治会・学校・企業などが「里親」になり、「養子」(=農業水利施設)を守る)の推進・定着を図っている。



ふじさとまち
秋田県藤里町

農泊

食育・教育

青森

★
秋田

岩手

山形

宮城

福島

とくていひえいりかつどうほうじん ふじさとげんきじゅく
④特定非営利活動法人ふじさと元気塾

南白神の里で地域の宝を磨いて元気創造！



改修して南白神ベースになる空き家



南白神の里の農家民宿の手料理



子どもたちと大学生の川遊び

概要

南白神の里の里山、集落、清流の川を活かして地域住民が元気になる活動を創り出している。

取組の効果

【農家民宿運営】

順調に推移して宿泊者数が増加傾向にある。関係づくりとしてサポーター会員制度を設けているが、首都圏や仙台市など34人に増え、さらに50人以上を目指している。

秋田県内の大学生 ARCグループとの協働事業と国際教養大学国内の学生や留学生を招いて交流を行っている。藤里小学校の子どもたちの農家民宿宿泊体験も続けている。

【その他】

自主事業のイワナ養殖、藤里町木の駅管理運営・移住定住促進・空き家紹介管理事業、秋田県のグリーン・ツーリズム拠点地域育成事業、魅力ある里づくりモデル事業、森林の多面的機能発揮事業を行っている。